### 会社説明資料

ミナトホールディングス株式会社(証券コード6862) 2021年11月30日



#### CONTENTS

- 1 ミナトホールディングスのご紹介
- 2 2022年3月期 第2四半期決算ハイライト
- 3 2022年3月期 第2四半期連結業績概要
- 4 ミナトグループの成長戦略
- 5 ミナトの株主になるメリット
- 6 appendix

# **1** ミナトホールディングスのご紹介

## 会社概要

社名:ミナトホールディングス株式会社

市場:東証JASDAQスタンダード<証券コード6862>







グループ会社数

11 社 海外 2 社



役職員数

**約** 530 名



拠点数

4 11 拠点



## 代表略歴



ミナトホールディングス株式会社 代表取締役会長兼社長

## 若山 健彦

Takehiko Wakayama

1989年

日本長期信用銀行(現新生銀行)入行

2012年

ミナトエレクトロニクス株式会社(現当社)代表取締役社長就任

#### 2000年

イーバンク銀行(現楽天銀行)を設立、 代表取締役副社長兼COOなどを歴任。

#### 2019年

当社 代表取締役会長兼社長就任 (現任)

社内の構造改革を進めるとともに、M&Aや海外展開を通じて当社グループの売上高・収益力の大幅な伸長を実現している。東京大学卒業、米国スタンフォード大学経営大学院修了(MBA)。

## 経営理念

常に新しい技術に挑戦し、 社会に価値ある製品やサービスを 提供することで、 お客様、株主、従業員の満足を 高める企業になる。

## 事業紹介

#### 報告セグメントはデジタル分野を中心に6つに分類







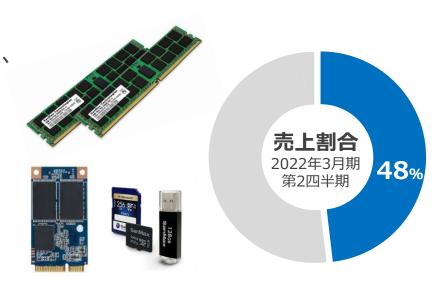






## ミナトグループ主力事業① メモリーモジュール

DRAM等の半導体メモリー製品の提供のほか、 産業機器用途向けメモリーモジュール (DIMM)の設計・製造販売、SSDやメモリー 製品の販売等を手掛ける。DRAMの調達力 に大きな強みを持ち、主な顧客は大手電機 メーカや半導体デバイス商社等。



#### ■ ミナトグループのメモリーモジュールはいろいろなところで使われています



サーバー (PC)



組込用PCボード



半導体関連装置



POSレジ



ATM

## ミナトグループ主力事業② テレワークソリューション/デジタルデバイス周辺機器

#### ■ テレワークソリューション

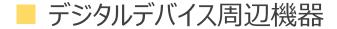
web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売・保守 のほか、ライセンス販売を手掛ける。米Poly社やシスコシステム ズ社の国内有力パートナーとして長年にわたり構築してきた販 売・保守サポート体制が大きな強み。



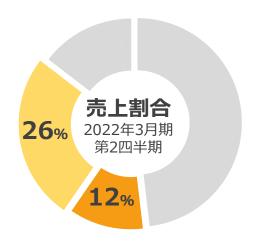








eスポーツ関連製品、教育市場向けのPC・タブレット端末周 辺機器、スマートフォンアクセサリの販売等を手掛ける。





## 2022年3月期 第2四半期決算ハイライト

## 2022年3月期 第2四半期決算ハイライト①

## 売上高、利益水準ともに大きく躍進 上半期の売上高は過去最高を更新

■ メモリーモジュール事業/デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業が業績拡大に寄与、売上高は対前年同期 + 117.9%



第2四半期利益		
	FY20/2Q	FY21/2Q
営業利益	△51	337
経常利益	△92	332
親会社株主に帰属する四半期純利益	150	301

## 2022年3月期 第2四半期決算ハイライト②

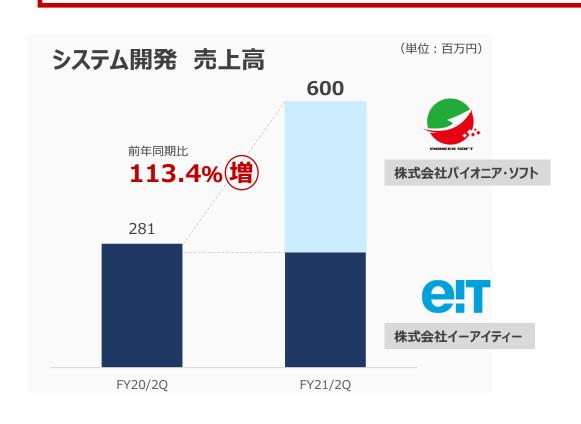
## 通期業績予想を修正 利益水準は前回予想2倍以上に

	前回発表予想 (百万円)	<b>今回修正予想</b> (百万円)	2Q時点での 進捗率 <sup>(%)</sup>	<ご参考> 前期実績 (EDDH)
売上高	20,000	22,000	52.3	15,920
営業利益	270	540	62.5	220
経常利益	240	510	65.1	199
親会社株主に帰属する 当期純利益	200	400	75.4	467

■今回の業績予想修正に伴う年間配当予想(6円)の変更はなし。

## 2022年3月期 第2四半期決算ハイライト③

## パイオニア・ソフトを連結 システム開発事業の業績拡大に寄与



株式会社パイオニア・ソフトのPLを 当第2四半期より取り込んだことで、 システム開発事業セグメントの業 績が拡大。

両社の協業により、シナジー創出 も実現している。

# 3 2022年3月期 第2四半期連結業績概要

## 連結業績概要①/損益計算書

(2021年4月1日~2021年9月30日)

既存事業の回復と、M&Aによる連結範囲の拡大等により、前年同期 比で大幅な増収増益を達成

(単位:百万円)

	FY20/2Q	FY21/2Q	増減額	増減率 (%)
売上高	5,278	11,504	6,225	117.9
売上総利益	607	1,989	1,381	227.5
販管費	658	1,651	993	150.8
営業利益	△51	337	388	_
営業外損益	△41	△5	36	_
経常利益	△92	332	424	_
特別損益	284	40	△244	△85.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	150	301	150	100.0

## 連結業績概要②/セグメント別売上高

各セグメントの売上割合

## FY2021 2Q売上高 48% 115億円 26% 12%

#### (2021年4月1日~2021年9月30日)

#### セグメント別の売上高

(単位:百万円)

■ メモリーモジュール	5,586
- テレワークソリューション	1,329
- デジタルデバイス周辺機器	2,997
デバイスプログラミング・ ディスプレイソリューション	851
システム開発	600
■ その他	241

### 連結業績概要③/セグメント別営業利益(累計)

(2021年4月1日~2021年9月30日)

## 中核であるメモリーモジュール事業の大幅増益とともに、デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業の業績が大きく回復

(単位:百万円)

営業利益	FY20/2Q	FY21/2Q	増減額
メモリーモジュール事業	202	353	150
テレワークソリューション事業 <sup>※</sup>	_	18	18
デジタルデバイス周辺機器事業※	_	△53	△53
デバイスプログラミング・ ディスプレイソリューション事業	△40	213	253
システム開発事業	22	41	18
その他事業	△18	△6	11
全社費用	△217	△228	△11
営業利益	△51	337	388

※テレワークソリューション・デジタルデバイス周辺機器の両事業につきましてはFY20/3Qから連結の範囲に含めているため、前年同期比がありません。

## 連結業績概要④/貸借対照表

パイオニア・ソフト連結と、メモリーモジュールや液晶ディスプレイ等での在庫確保により、BS規模は前期末よりも拡大

(単位	:	百万円)

	21/3末	21/9末	増減
	資産の部		
流動資産	10,138	11,407	1,269
現金及び預金	2,382	2,497	115
売上債権	3,504	3,582	78
商品及び製品	2,412	3,166	753
原材料及び貯蔵品	789	816	27
前渡金	86	402	316
固定資産	2,486	2,465	△ 21
有形固定資産	1,334	1,306	△ 27
無形固定資産	283	294	11
(うち、のれん	238	259	21)
投資その他の資産	869	863	△ 5
(うち、投資有価証券	429	305	△ 123)
(うち、関係会社株式	1	_	△ 1)
繰延資産	0	0	0
資産合計	12,625	13,872	1,247

日田及り表品、原材料及り メモリーモジュール事業 テレワーク・デジタルデバイス	+316百万円 +452百万円
<u>前渡金</u> メモリーモジュール事業	+292百万円
有形固定資産 デバイスプログラミング事業 土地建物売却	+134百万円 △112百万円
無形固定資産 パイオニア・ソフトのれん のれん償却	+35百万円 △16百万円

投資その他の資産

株式報酬

パイオニア・ソフト敷金他

投資有価証券売却·時価評価等

商品及び製品 原材料及び貯蔵品

+41百万円

+11百万円

△98百万円

## 連結業績概要⑤/貸借対照表

製品在庫確保のための資金需要により短期借入金が増加。自己資本比率は25.9%(前期末比△1.2ポイント)

(単位:百万円)

	21/3末	21/9末	増減
負債	の部		
流動負債	6,992	8,238	1,209
支払手形及び買掛金	1,424	1,210	△ 214
短期借入金	3,540	5,040	1,500
1年以内返済長期借入金	610	504	△ 105
固定負債	2,113	1,971	△ 141
長期借入金	1,772	1,708	△ 63
負債合計	9,105	10,210	1,067
純資產	を の部		
株主資本	3,347	3,472	161
その他の包括利益累計額	75	123	47
(うち、その他有価証券評価差額	153	113	△ 40)
新株予約権	88	47	△ 40
非支配株主持分	7	18	11
純資産合計	3,519	3,662	179
負債純資産 合計	12,625	13,872	1,247

	<u>短期借入金</u> ホールディングス パイオニア・ソフト 約定弁済等	+1,390百万円 +128百万円 △173百万円
	<u>長期借入金</u> ホールディングス パイオニア・ソフト アイティ・クラフト 約定弁済等	+160百万円 +23百万円 +29百万円 △275百万円
J		
	<u>株主資本</u> 当期純利益 <sup>※1</sup> 株主配当 自己株式 株式報酬 利益剰余金 <sup>※2</sup>	+301百万円 △69百万円 △60百万円 +33百万円 △82百万円
	その他包括利益累計額 利益剰余金への振替 <sup>※2</sup> 有価証券評価差額	+82百万円 △40百万円

<sup>※1</sup> 親会社株主に帰属する当期純利益

<sup>※2</sup> 同一事象に係る同額での振替処理

# ミナトグループの成長戦略

## ミナトグループの成長戦略

## ミナトホールディングスグループは

## デジタルコンソーシアム構想

の実現を目指します。



## デジタルコンソーシアム (DC) 構想とは…

1

デジタル分野に特化した技術力のある企業との提携、M&Aを実施

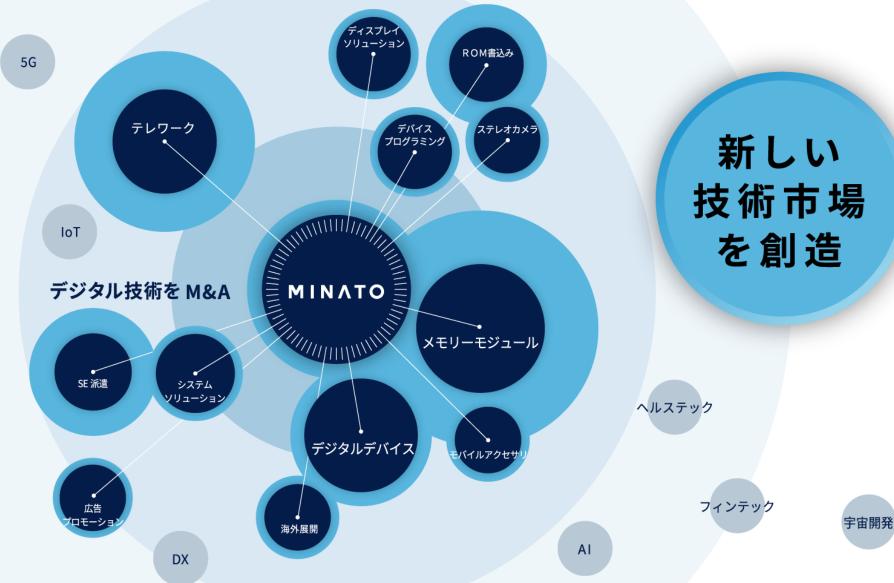
2

コンソーシアムの枠組みを強化することで シナジーを創出 新しい製品やサービスの開発にも挑戦

3

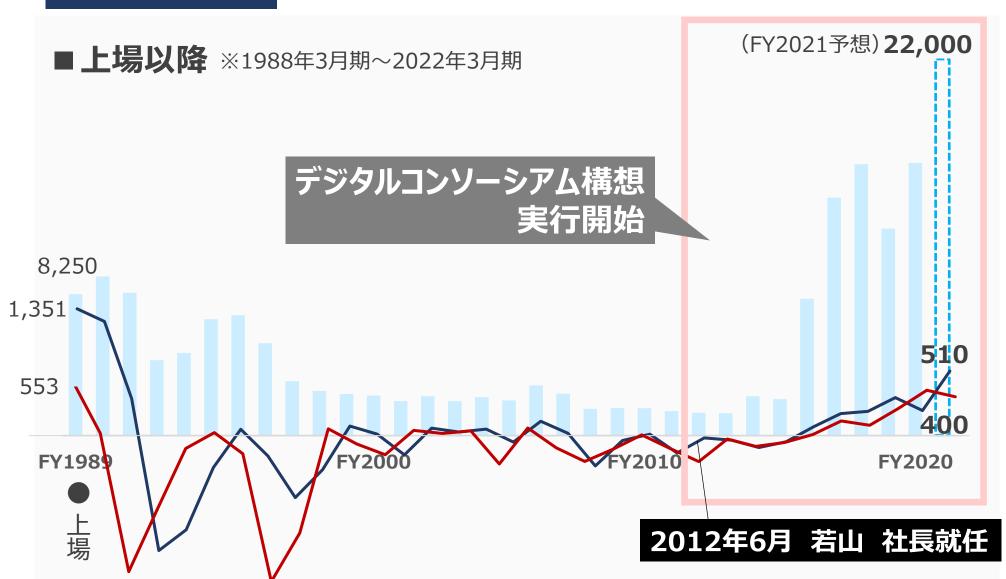
新しい市場を開拓することで人や社会に貢献し、持続可能な未来を創造する

## DC構想イメージ図



## 業績の推移

■ 売上高(百万円)■■ 経常利益(百万円) ■■ 当期純利益(百万円)

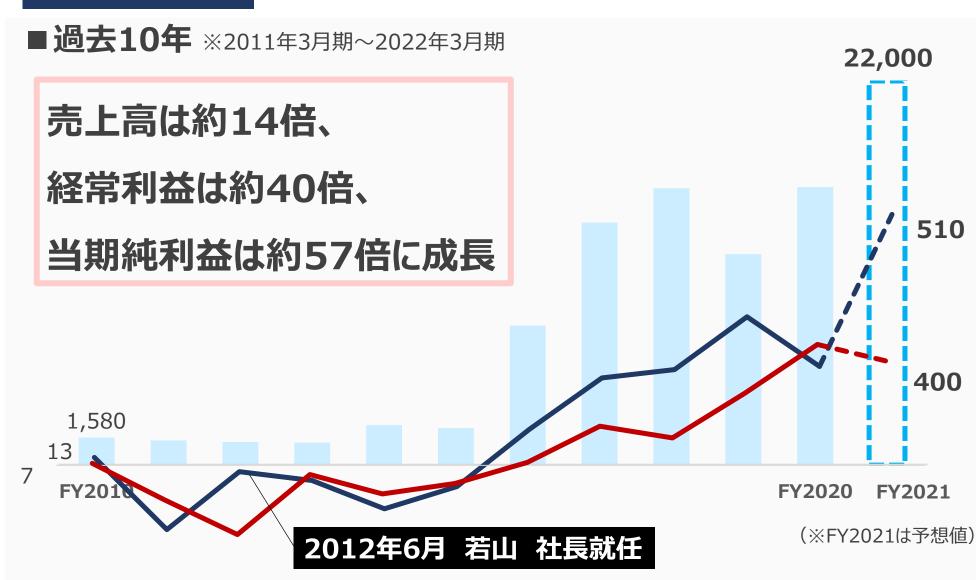


## DC構想の実現に向けて~グループ力強化

	グループ(国内)拡大の軌跡
2014	イーアイティーを子会社化
2016	サンマックス・テクノロジーズを子会社化
2016	ミナト・フィナンシャル・パートナーズを設立
2017	日本ジョイントソリューションズを子会社化
2018	持株会社制に移行
2018	ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ営業開始
2020	ジー・ワーカーを連結子会社化
2020	プリンストンを子会社化
2021	アイティ・クラフトを子会社化
2021	パイオニア・ソフトを子会社化

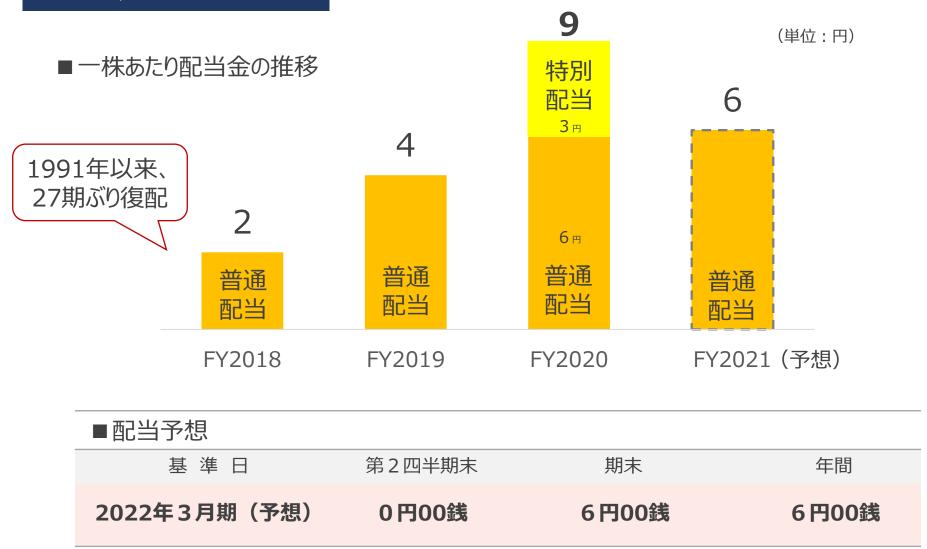
## 業績の推移

■ 売上高(百万円) ■■ 経常利益(百万円) ■■ 当期純利益(百万円)



## 5 ミナトの株主になるメリット

## 株主還元 配当



## 株主還元 株主優待

#### 保有年数及び株式数によってお選びいただけます。





- ★クオカード
- ★SDカード
- ★自社グループ製品

※自社グループ製品は毎年商品内容を変更予定









## 株主還元 自己株式取得

株主様への利益還元、M&Aにおける活用、取締役に対して交付する譲渡制限付株式への充当、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とすること等を目的に自己株式を取得。

#### 2021年8月24日開催の取締役会決議により、以下の自己株式の取得を実施

■ 取得した株式の総数 当社普通株式 15万株

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:1.93%)

■ 取得価額の総額 68,131,800円

■ 株式を取得する期間 2021年8月24日から2021年10月15日まで

■ 取得方法 東京証券取引所における市場買付け

■ 理由 株主様への利益還元、M&Aにおける活用、当社取締役に対して

交付する譲渡制限付株式への充当、経営環境の変化に対応した

機動的な資本政策の遂行

## 株価チャート

(2019年11月25日~2021年11月24日)

**498** 2021/11/26

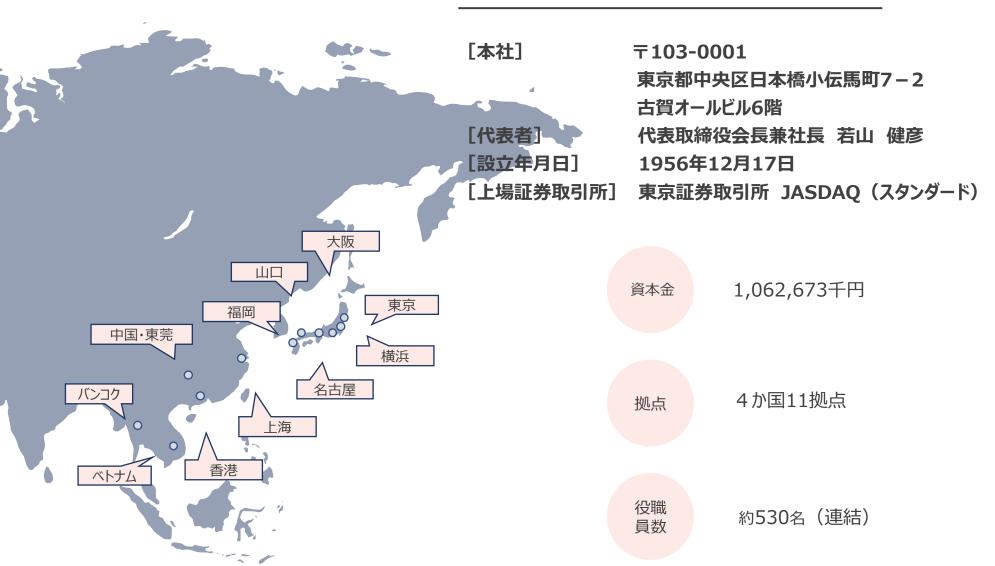
#### 期間平均435円/最高値662円/最安値231円



# 6 appendix

#### 会社概要

#### ミナトホールディングス株式会社



#### グループ会社



サンマックス・テクノロジーズ株式会社 メモリーモジュール事業



株式会社プリンストン テレワークソリューション事業 デジタルデバイス周辺機器事業



ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社 デバイスプログラミング・ ディスプレイソリューション事業 インテリジェント・ステレオカメラ事業



**ジー・ワーカー株式会社** モバイルアクセサリ事業



株式会社イーアイティー システム開発事業



日本ジョイントソリューションズ株式会社 ウェブサイト構築事業 広告の制作プロデュース事業 (海外)

**港御(上海) 信息技術有限公司** デバイスプログラマ



ミナト・フィナンシャル・パートナーズ株式会社 財務コンサルティング事業 太陽光発電事業



株式会社パイオニア・ソフト システム開発事業 イーアイティーとの経営統合を目指す



株式会社アイティ・クラフト システム構築・SE派遣事業 **港御(香港)** 有限公司 デバイスプログラマ メモリーモジュール

#### メモリーモジュール事業



#### サンマックス・テクノロジーズ株式会社他

- 産業機器用途向けコンピューター記憶装置(DIMM)の設計・製造・販売ノウハウを持ち、大手電機メーカーや半導体デバイス商社等へ販売
- PC、サーバー、MFP(多機能デジタル複合機)、POS、ATMなど用途は多岐にわたり、 全数検査による高品質の製品供給が強み

DIMM ( Dual Inline Memory Module)

複数のDRAMチップを基盤上に搭載したメモリーモジュールのこと。コンピューターのメインメモリとして利用。 サンマックスはDIMMの主要調達部材であるDRAMの調達に優れており、DIMMの開発・製造・販売までを一貫して手掛けている。



SSD (Solid State Drive)



#### テレワークソリューション事業



#### 株式会社プリンストン

■ テレビ・Web会議等のデジタル会議システム関連機器の販売及び保守サービスやライセンス販売等、ソリューションサービスを展開

米国Poly社及びシスコシステムズ社の国内有力パートナーとして 長年にわたり構築してきた販売・保守サポート体制が大きな強み クラウドサービスとして、各ブランドライセンスも取り扱い



ビデオ会議用ハードウェア(Poly)



大会議室用オールインワン会議システム(Cisco)

### BlueJeans





#### デジタルデバイス周辺機器事業



#### 株式会社プリンストン

- eスポーツ関連製品、メモリー、PCやスマホ等デジタルデバイスの周辺機器販売等を展開
- 自社ECサイト「プリンストンダイレクト」( https://www.princeton-direct.jp/) の運営

eスポーツ市場向けのゲーミング関連

「GIGAスクール I向けのツール



左:ゲームの世界に没入できる高スペックゲーミングヘッドセット右:プリンストンオリジナルゲーミングブランド「ULTRA PLUS」





左:端末を落下や衝撃から守る耐衝撃ケース

右:画面に直接ペンで記入できるiPad専用充電式

タッチペン

#### デバイスプログラミング・ディスプレイソリューション事業

#### ミナト・アドバンスト・テクノロジーズ株式会社他

MINATO

- 1956年設立の電子機器製造メーカー。
- デバイスプログラマや自動プログラミングシステムの設計・販売のほか、ROMやCPUへの プログラム書込み事業(ROM書込みサービス)、タッチパネルやデジタルサイネージ関 連機器の企画・設計・販売を手掛ける。

#### デバイスプログラマ

ROMやCPU等のデバイスにデータを書込むための装置。 MATは1973年に国産初のデバイスプログラマを開発する など、この分野のパイオニア。

#### ROM書込みサービス

デバイスプログラマを利用し、デバイスへの書込みサービスを展開。「自動プログラミングシステム」では大量の書込みを自動で行うことができ、大規模受注にも対応可能。

2021年4月からサムスン株式会社、株式会社トーメンデバイスと3社共同で書込みプロジェクトを本格推進中。







#### システム開発事業

#### 株式会社イーアイティー/株式会社パイオニアソフト

- 株式会社イーアイティーと、2021年4月末に連結子会社化した株式会社パイオニア・ ソフトが、システム開発業務を手掛ける
- 両社にて、営業面および管理面における協業を推進

株式会社イーアイティー 🗎



#### 株式会社パイオニア・ソフト



- システムエンジニアリングサービス (WEBシステム・汎用系システム・ERPの開 発、データベース・ネットワークの構築等)
- 各種システムの一括受託

- ERP、EC、証券業務等、大規模業務シス テムの受託開発事業
- ヤキュリティ・コンサルティング事業

### その他事業

#### 成長分野で積極的に事業推進

日本ジョイント ソリューションズ(株)



(株)アイティ・クラフト



ミナト・アドバンスト・ テクノロジーズ (株)



ミナト・フィナンシャル・ パートナーズ(株)



ジー・ワーカー(株)



- ウェブサイトの構築や広告の制作プロデュース
- セールスプロモーション、マーケティングのコンサル ティング業務
- システム構築、技術者派遣
- インテリジェント・ステレオカメラ事業
- 環境エレクトロニクス事業 (LED照明の受注販売など)
- 財務コンサルティング、ファイナンスアドバイザリー 関連業務
- 太陽光発電事業(福島、群馬にて売電中)

モバイルアクセサリ等の販売

#### その他事業(インテリジェント・ステレオカメラ)

#### ミナト・アドバンスト・テクノロジーズが開発推進するカメラセンサー

- 業務提携先の東工大発ベンチャーITD Lab株式会社と連携した、測距、形状認識を高速で行う高性能 2 眼カメラセンサー
- 無軌道搬送機(AGV)等の自動運転、障害物センサー、産業用ロボット等の多分野での活用が期待。顧客のニーズに合わせた新型機の開発も進行中
- 株式会社アラヤとの連携により、ディープラーニング技術も導入





インテリジェント・ステレオカメラ 「ISC-100VM」

## デジタルコンソーシアムで未来を創る

#### ミナトホールディングス株式会社

JASDAQスタンダード:6862

https://www.minato.co.jp/

〒103-0001

東京都中央区日本橋小伝馬町7-2 古賀オールビル6階

TEL 03-5847-2030 FAX 03-5847-2040

#### 免責事項

- 本資料は、ミナトホールディングス株式会社並びにその子会社及び関連会社(以下合わせて「当社」又は「当社グループ」)に関する情報を提供するものであり、いかなる投資勧誘を構成するものではなく、またいかなる投資勧誘とみなされるものでもありません。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。
- 過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当 社の将来の実績の予測又は予想を示すものではなく、またその推定を示すものでもありません。
- 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。